



(知事公室)

(単位：千円)

主要な施策	予算額	決算額	施策の成果	目名
4 百年の礎を築く 【戦略11】熊本都市圏の拠点性向上 戦略11 - 州都をめざした取組みの展開 拠点性を高める	133,331	113,367	1 九州広域防災拠点強化整備事業(再掲)(P1)に記載	防災総務費のうち P151
6 その他 (1) 重要政策調整事業	20,000	14,678	1 重要政策調整事業 知事からの指示事項や年度途中に発生した重要案件等について、必要な事業を実施した(事業実施所属へ令達) (1) ミラノ国際博覧会出展及び熊本・ミラノ交流会開催事業(むらづくり課) 世界農業遺産・阿蘇を世界に向けて強くアピールするため、阿蘇の地域住民や経済界と一体となり、ミラノ国際博覧会における「熊本の日」イベントや、在ミラノのマスコミ関係者と熊本経済界等との交流会を開催した。 (2) 「くまモン」ピクトデザイン等制作事業及びJR大阪駅「時空の広場」くまもとプロモーション実施事業(くまもとブランド推進課) 2019年のラグビーワールドカップ及び女子ハンドボール世界選手権大会の熊本開催に向けた機運醸成のため、くまモンの認知度を有効活用し、スポーツをしているくまモンのイラスト(ピクト)を作成した。さらに、九州新幹線全線開通5周年を機に、JR大阪駅「時空の広場」においてくまモンを活用したくまもとプロモーションを実施した。 (3) 阿蘇くまもと空港国際線定期便3路線広報事業(交通政策課) 阿蘇くまもと空港に就航するソウル線、台湾・高雄線、香港線といった国際線定期便の利用促進を図るとともに、12月の香港線定期便就航に併せ、本県の「アジアとつながる」取組みを効果的にPRし、国際線利用に関する機運醸成を図った。	計画調査費のうち P136～P137
(2) 広聴広報の推進	1,253	713	1 広聴事業 県政についての県民の意見や要望を幅広く聴き、県の施策に反映させた。 (1) 知事への直行便(郵送・メール): 県内約620か所に設置(345件処理) (2) 県民対話事業: 知事から県政の成果を報告し、直接、県民と意見交換を行う「くまもと華トーク」を実施。開催地(参加者数): 熊本市(80名)、人吉市(140名)	広報費のうち P125～P126

(知事公室)

(単位：千円)

主要な施策	予算額	決算額	施策の成果	目名
(2) 広聴広報の推進)	209,179	190,484	<p>2 広報事業</p> <p>県の施策、事業について、様々な広報媒体を活用しながら、県民への説明責任を意識した情報提供に努めるとともに、県外に向けて、本県の認知度向上を目指し、熊本の個性や魅力について広く情報発信を行った。</p> <p>(1) 新聞紙面広報 新聞5紙に24回掲載</p> <p>(2) ラジオ広報 ・RKK「ふれあいくまもと」：3分番組（毎週月～金曜日・年262回放送） ・FMK「県庁ダイアリー」：3分番組（毎週月～金曜日・年262回放送）</p> <p>(3) テレビ広報 ・RKK「はっ県！くまモンラボ」：4分30秒番組（毎週水曜日・年45回放送、特番30分2回放送）</p> <p>(4) くまもとの魅力発信事業 ・県外の人々に熊本への興味・関心を持ってもらうため、くまモンを活用した効果的なイメージアップ広報を展開した。 ・九州向け広報では、阿蘇山噴火風評被害対策のためのラジオ・テレビ広報や交通広告を行った。</p> <p>(5) 熊本県広報誌発行事業（「県からのたより」） ・規格：タブロイド判、4ページ 発行回数：年6回(偶数月) 発行部数：58万5千部/回</p> <p>(6) ウェブ活用広報事業 ・メール広報誌「気になる！くまもと」配信 配信頻度：週1回（毎週木曜日） 登録者数（配信数）：34,381人（平成28年4月1日現在） ・県ホームページ運営管理 タイムリーな情報発信に努め、年間約200万件のアクセスがあった。</p> <p>(7) 首都圏広報強化事業 熊本の魅力を“赤”の統一ブランドイメージで積極的に発信し、くまモンを活用しながら、効果的な広報を展開した。 この他、熊本市をはじめ、共通の歴史・文化を背景として新宿区・文京区と連携した広報、首都圏で話題性のあるイベント、企画等とのタイアップ、更には、パブリシティ広報などを積極的に展開した。</p>	<p>広報費のうち P125～P126</p>